

令和7年9月市議会定例会
副市長認定議案説明

認定第2号 令和6年度長野市一般会計、各特別会計決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

今回、提案申し上げました決算は、令和6年度一般会計のほか、9つの特別会計、5つの財産区特別会計で合わせて15会計でございます。

認定議案の8、9ページを併せて御覧いただきたいと存じます。

一番下の行、一般会計と各特別会計の収入済額の合計は2,485億5,500万7,945円、支出済額の合計は2,428億9,095万7,684円、実質収支額は40億5,311万261円となりました。

次に、一番上の行、一般会計の決算の概要につきまして申し上げます。

収入済額は1,709億4,949万9,030円、支出済額は1,667億230万5,036円、従いまして歳入歳出差引残額は42億4,719万3,994円となり、そのうち翌年度へ繰り越すべき財源となる16億1,094万円を差し引きました実質収支額は、26億3,625万3,994円でございます。

次に、特別会計の決算の概要につきまして申し上げます。

国民健康保険特別会計等の9つの特別会計につきましては、下から2行目、特別会計計を御覧ください。収入済額は776億550万8,915円、支出済額は761億8,865

万 2,648 円、実質収支額は、14 億 1,685 万 6,267 円でございます。

決算規模の大きな 3 つの特別会計につきまして申し上げます。

まず、特別会計の 1 番上の行、国民健康保険特別会計の収入済額は 333 億 9,253 万 1,453 円、支出済額は 326 億 4,940 万 6,385 円、実質収支額は 7 億 4,312 万 5,068 円でございます。

次に、中ほどの介護保険特別会計の収入済額は 357 億 3,020 万 1,245 円、支出済額は 350 億 8,659 万 8,864 円、実質収支額は 6 億 4,360 万 2,381 円でございます。

次に、下から 5 行目の後期高齢者医療特別会計の収入済額は 65 億 244 万 947 円、支出済額は 64 億 8,766 万 2,316 円、実質収支額は 1,477 万 8,631 円でございます。

続きまして、財産区特別会計の決算の概要につきまして申し上げます。

331 ページからの「令和 6 年度 長野市各財産区特別会計 歳入歳出決算書」を御覧いただきたいと存じます。

決算規模の大きな 3 つの財産区特別会計につきまして申し上げます。

まず、333 ページの松代財産区につきましては、歳入決算額は 201 万 4,004 円、歳出決算額は 54 万 6,710 円、実質収支額は 146 万 7,294 円でございます。

次に 349 ページを御覧ください。西寺尾本郷財産区につきましては、歳入決算額は 56 万 5,525 円、歳出決算額は 32 万 7,071 円、実質収支額は 23 万 8,454 円でございます。

次に 357 ページを御覧ください。今井財産区につきましては、歳入決算額 37 万 3,195 円、歳出決算額は 28 万 351 円、実質収支額は 9 万 2,844 円でございます。

以上、令和 6 年度長野市一般会計、各特別会計の決算の概要について御説明申し

上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算書のほか、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等を御参照いただきたいと思います。

続きまして、認定第3号 令和6年度長野市各公営企業会計決算の認定についてのうち、私から、長野市産業団地事業会計及び長野市戸隠観光施設事業会計の決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

初めに、長野市産業団地事業会計決算の概要につきまして申し上げます。

「認定議案」の16ページを御覧いただきたいと思います。

まず、「収益的収入及び支出」につきまして申し上げます。

「収入」の「産業団地事業収益」につきましては、予算額1億9,186万円に対しまして、決算額は1億8,709万600円となりました。

また、「支出」の「産業団地事業費用」につきましては、予算額1億6,719万円に対しまして、決算額は1億3,557万9,851円となり、この結果、18ページの損益計算書に記載のとおり、5,151万749円の純利益が生じたところでございます。

17ページを御覧ください。

次に、「資本的収入及び支出」につきまして申し上げます。

「収入」の「資本的収入」につきましては、予算額8,786万8,000円に対しまして、決算額は7,600万円となりました。

また、「支出」の「資本的支出」につきましては、予算額2億4,116万8,000円に対しまして、決算額は2億1,615万1,220円となりました。

この結果、1億4,015万1,220円の不足額が生じたところでございます。

この不足額のうち、現金支出を伴わない2,306万376円を除いた1億1,709万

844 円につきましては、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金から補填いたしました。

次に、長野市戸隠観光施設事業会計決算の概要につきまして申し上げます。

169 ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入の観光施設事業収益につきましては、予算額 1 億 935 万 4,000 円に対しまして、決算額は 1 億 2,224 万 5,237 円となりました。

また、支出の観光施設事業費用につきましては、予算額 1 億 1,475 万 4,000 円に対しまして、決算額は 1 億 971 万 6,553 円となりました。

この結果、170 ページの損益計算書に記載のとおり、収入支出決算額から、それぞれ消費税及び地方消費税を除きまして、546 万 9,894 円の経常利益が生じたところでございます。

この当年度経常利益に前年度からの繰越欠損金 7 億 4,868 万 10 円を合わせた、当年度未処理欠損金 7 億 4,321 万 116 円は、全額、翌年度繰越欠損金として処理するものでございます。

もう一度、169 ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

資本的収入につきましては、予算額 1 億 5,914 万 6,000 円に対しまして、決算額は 1 億 5,874 万 6,000 円となりました。

資本的支出につきましては、予算額 1 億 5,914 万 6,000 円に対しまして、決算額は 1 億 5,878 万 1,000 円となりました。

この結果、3 万 5,000 円の不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額から、全額補填いたしました。

以上、令和6年度長野市産業団地事業会計及び長野市戸隠観光施設事業会計の決算の概要につきまして御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算報告書のほか、損益計算書、欠損金計算書、剰余金処分計算書及び欠損金処理計算書、貸借対照表、事業報告書及び財務諸表附属明細書を御参照いただきたいと思います。

何とぞ十分御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。